

心サルコイドーシスのFDG-PET/CT検査説明書兼予約票

氏名

殿

検査日 平成 年 月 日 曜日 時 分

*検査当日は 初診 再診 で手続きを済ませて、予約時間の15分位前までに核医学受付(69番)までお越しください。

★本検査では、18時間絶食が必要です。注意をよくお読みください。

検査時刻に遅れると検査できないこともあります。キャンセルや遅れる場合は早めに核医学検査室（直通電話:03-5273-6881）までご連絡下さい。

FDG-PET検査のあらまし

この検査では18Fフルオロデオキシグルコース（以下FDG）という薬を静脈注射し、体の中でどのように薬が分布したかを、ポジトロン断層(Positron emission tomography ; PET) という機械で画像にします。FDGはグルコース（ぶどう糖）によく似た構造をしているため、注射するとグルコース代謝の盛んな場所、つまり脳・心臓などの正常臓器、腫瘍や炎症などの病巣に集まる性質があります。この薬には、18F（フッ素18）という放射性物質が付いているため、薬の集まったところから微量の放射線が出ます。これを検出して、糖の代謝を反映した画像を作り、病巣の有無を診断します。

サルコイドーシスについて

サルコイドーシスは、肉芽腫（にくげしゅ）という炎症に基づいて生じる腫瘍が発生する原因不明の病気です。自然に治る方も多いと言われていますが、肺に病巣があると、せきや息苦しさにつながったり、心臓に発生すると不整脈を引き起こす、重大な症状が出る場合があります。そのため、サルコイドーシスの活動性病巣があるかどうかを精度よく診断することが重要です。

心サルコイドーシスPET検査の特徴

サルコイドーシスの病巣には多数の炎症細胞が含まれ、グルコース代謝が盛んでFDGが集まります。しかし、正常の心筋もグルコースをエネルギーとして消費していますので、FDG が集まり、病巣との区別ができません。心筋のサルコイドーシス病巣をPET検査で見つけ出すには特別な方法が必要です。

心臓はグルコースと脂肪酸、2種類のエネルギー源を使うことができます。絶食にして血糖値を下げると、心臓は脂肪酸だけを使うようになりFDGは集まりません。この働き方を利用して検査前の準備を行います。通常のFDGPET検査では、5-6時間絶食してから検査しますが、心臓の病巣を検出するにはこれでは不十分です。『18時間絶食』という特別な方法を用いることで、心臓のグルコース代謝を十分抑え、サルコイドーシスの病巣だけにFDGを集めて検出することで精度よく診断できるようになります。

この検査は2012年から保険適応となっています。（詳細は当科ホームページを御覧下さい。）

- 検査前日は、夜7時ころまでに夕食を食べ終えて下さい。
- 夕食後は、糖分の含まれていない飲み物（水・お茶）のみ摂取可能です。
- 検査当日の朝食、昼食は食べないで下さい。
- 18時間絶食後、検査は午後2時前後に予定されます。